



TITLE:

研究会活動報告

AUTHOR(S):

CITATION:

研究会活動報告. 資本と地域 2018, 13: 59-59

ISSUE DATE:

2018-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/231949>

RIGHT:

研究会活動報告

地域経済研究会

2017年4月29日(土)

『入門 現代日本の経済政策』書評会

報告者：阿知羅 隆雄氏（滋賀大学名誉教授）

徳永 昌弘氏（関西大学商学部）

只友 景士氏（龍谷大学政策学部）

司会：渡邊 英俊氏（島根大学）

2017年7月9日(日)

○吉原 清嗣氏（京都大学大学院経済学研究科博士
後期課程）

「地域金融力の数値化

——金融機関の生産物評価——」

○池島 祥文氏（横浜国立大学）

「エビデンスベースドアプローチによる地域経済
研究の探究」

2017年11月4日(土)

○小川 尚紀氏（京都大学大学院経済学研究科博士
後期課程）

「中山間地域における茶業産地の変容過程と

要因分析——岐阜県における美濃いび茶産地
の事例から——」

○ジョン・ランビーノ氏（京都橘大学現代ビジネス
学部）

「フィリピン経済の地域内再投資力の一考察

——中書不企業と大企業の比較分析を
中心に——」

2018年1月20日(土)

○大賀 健介氏（京都大学経済学部）

「瀬戸内海沿岸地域における開発事業の展開

——香川県丸亀市の事例を中心に——」

○白石 智宙氏（京都大学大学院経済学研究科博士
前期課程）

「農山村における地域内経済循環の理論と実際

——岡山県西栗倉村を事例に——」

会員業績紹介（2016年12月1日～2017年12月31日）

関根 佳恵（愛知学院大学）

【著書】

「世界における農業女性の今」日本婦人団体連合会
編『女性白書 2017—女性の権利と社会保障—世
界と日本』ほるぷ出版、2017年、82-84 ページ。

【論文】

「農産物・食品の地理的表示制度の意義と役割」『農
村と都市をむすぶ』第67巻第9号、2017年、
26-34 ページ [招待有]。

“Resistance to and in the Neoliberal Agri-Food Regime:
A Case of Natural Bananas Trade between the
Philippines and Japan.” *The Journal of the Research
Institute of Business*. 55(3): 15-33. March 2017.

【書評】

桂瑛一編著『青果物のマーケティング—農協と卸
売業のための理論と戦略—』昭和堂、2014年。『農
業市場研究』第25巻第3号、2016年、60-61 ペ
ージ。

【研究発表】

「座長解題：農山村移住と農のある暮らしを考える
in 奥三河」農業・農協問題研究所、同東海支部、
実行委員会共催フォーラム「農山村移住と農のあ
る暮らしを考える in 奥三河」愛知県新城市、新
城文化会館、2017年11月18日。

“Néolibéralisation de la politique agroalimentaire
au Japon et contradictions des modèles agricoles”
Article présenté au colloque international FORMAT/
Métaprogramme GIoFoodS sur Coexistence des